

ゆえに、当会では、3年という年月を費やした感染症対策への真摯な取組を、感染症の分類引下げに併せ、子供たちへの人権意識へとこれまで以上に注力いただくためにも、実際の教育現場等における感染症対策の早期見直しを具体的に進めていくことを求めている。

しかしながら、学校長及び園長への聞き取りによると、黙食やマスク着用などの対策を現場判断で緩和に踏み切れない理由として、マスク非着用者を見ると不安になる人の存在があるとのことだった。

こうした人々と共に、感染症対策を緩和して戻っていくことができるよう、換気や換気システムなどの導入により安心材料の可視化を行っていただくなどの具体的な取組に努めていただきたい。

これらの理由により、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 新潟市として、新潟市民に伝わる形で、感染症対策緩和へ前向きかつ具体的に取組んでいく旨のメッセージ発信等をしていただき、教育機関等が子供たちの生活をより文化的なものへと戻していくために踏み出すきっかけづくりを行うこと。
- 2 マスク非着用者を見ると不安になる人々と共に従来どおりの生活へと感染症対策を緩和して戻っていくことができるよう、換気の重要性、効果の学びや換気システム（高機能換気設備、二酸化炭素濃度測定器、サーキュレーター、HEPAフィルター機能つき空気清浄機等）の導入等により安心材料の可視化を行うなど、具体的な取組に努めること。